

# 文翔館周辺エリア ウォーカブル基本構想（案）【概要】



**目的** 文翔館周辺は新拠点整備により変化の好機にありますが、道路拡幅による回遊性の低下等が懸念されています。本構想では道路計画を再検討し、歴史・文化を活かした「居心地良く歩きたくなるまち」への転換を目指し、広場などの公共空間の将来像と実現に向けた施策の方向性を示します。

## 主な上位計画の考え方

**第4次山形県総合発展計画**  
人通りと賑わいに溢れた、歩いて楽しめる美しい道路空間の整備推進

**山形県道路中期計画2028**

良好な景観を創出する無電柱化や賑わい空間形成

**山形市立地適正化計画**

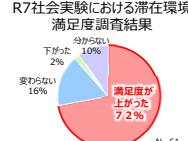
歩いて暮らせる健康で賑わいのあるまちづくり

**山形市中心市街地グランドデザイン**

歩くほど幸せになるまち

## 対象エリアの現状

- ①人口減少等
- ②豊富な地域資源やオープンスペース
- ③まちなか賑わいの取組
- ④景観に配慮した取組
- ⑤滞留者数と歩行者交通量
- ⑥オープンスペースの活用不足
- ⑦地域資源や人の活動を感じにくい
- ⑧安全・快適な歩行者空間の不足

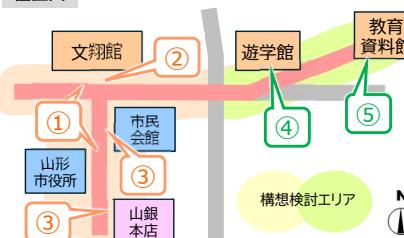


## 住民の意見等

文翔館の雰囲気を活かすよい歩きやすい木陰が欲しい  
安心して歩道を歩きたいた車道が狭く自転車で通りづらい  
子供も楽しめるまち、ほっこりする場所、ゆっくり過ごせる空間が欲しい  
消雪が無いと冬歩きにくく  
開放的で明るいエアだとよいなど

## 各個別施策

### 位置図

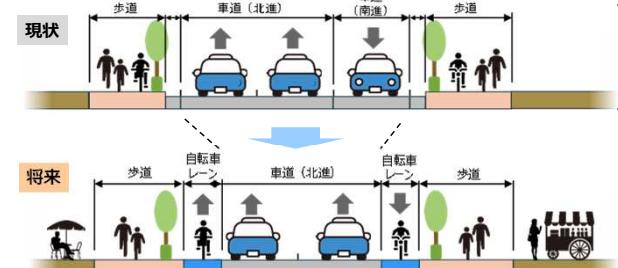


### (全体) 道路空間の利活用促進



- 道路空間を柔軟に使える「ほこみち」制度の導入を検討します。
- ベンチやカフェの設置、イベント開催を促進し、便利で賑わいあふれる空間の創出を目指します。

### ① 県道 ((都)双月志戸田線、(都)旧県庁半郷線) の見直し



- 道路空間の使い方の見直しにより歩行者と自転車の空間を明確に分離し、安全で安心して通行できる通行環境を目指します。
- あわせて無散水消雪設備の導入を検討し、冬期間も快適に通行できるネットワークの構築を目指します。

\*左の横断図は旧県庁半郷線のイメージ図です。

### ② 文翔館前広場の活用



- オープンスペースと歩道の段差等をなくし、一体的なフラット空間を創出します。
- 回遊性を高め、施設内の賑わいがまちへにじみ出す自由な活用を促します。

### ④ 遊学館前広場の活用



### ⑤ 教育資料館前広場の活用



- 全体を開放的な空間にすることで、多様な活動を受け止める居心地の良い空間の創出をイメージします。
- 山形市と連携し、市道を含めた文翔館からの回遊性を高める環境を目指します。

## ロードマップ

### ○主な取組みのスケジュール（予定）

内容	R7	R8～R12	R13以降
ウォーカブル基本構想の策定（ほか）		R8 山銀本店 R11 新市民会館 パフォーム	
道路整備①（旧県庁半郷線：市役所前）			R8事業化
道路整備②（双月志戸田線：文翔館前）			
県有施設の利活用等（文翔館等）			
道路空間の利活用等（ほこみちの運用等）			

※ほこみち(歩行者利便増進道路) 幅の広い歩道にオープンカフェやベンチなどを置いて、歩行者にとって便利でにぎわいあふれる空間として利活用できる制度

## 「歩く」から、毎日が色づく



- (全体) 持続的な活動を支える体制の検討**
- ```

    graph TD
        A[山形県・ほこみち指定] <--> B[山形市]
        A -- 許可 --> C[エリアマネジメント組織等  
対象エリアでのイベント等の実施  
「ほこみち」などの管理・運営]
        C -- テラス設置の許認可 --> D[商店街]
        C -- イベント時は窓口として申請対応 --> E[イベント主催者]
        C -- 道路空間のテラス等設置申請 --> F[学生]
        C -- 山形県と市役所の連携 --> G[連携・調整]
        C -- 財政支援代行 --> H[連携・調整]
        C -- 財政支援支払い --> I[連携・調整]
    
```
- 道路と広場等を一体的に管理運営する体制の構築を検討します。
  - 道路利用の手続き支援やテストマーケティングの場の提供により、市民や事業者の活動を積極的に後押しします。